

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/09/30 ～2021/12/05)

1. 勉学の状況

どのコースを履修するのかは、渡航前から悩んでいたが、まずはどうやって履修するのかがわかりにくかった。幸いにも、コーディネーターのサポートが厚く、メールで相談したところ研究室に来て話を聞いてくださるということだったので向かった。研究室前には他に相談したい留学生が行列を作っており、中に入れるまでは1時間以上かかった。

履修に関しては、留学生のためのMoodleのシステムが確立していないため、受たいコースの初日の授業に出席し、担当講師に直接申し込むように指示された。指示通りに最初の週に受たいコースに行き、履修登録をしてもらうために、講師に渡された紙に名前や住所、メールアドレスを書いた。かなり原始的な方法だが、コースのムードルページにもアクセスができ、これで完了であった。

履修の上限はコースを6つと言われており、はじめは6つすべてを履修しようと考えていたが、バディや現地の学生に6つは多いと忠告を受け、3つにした。余裕があれば次のセメスタは4つにすることを検討している。結果的に、1500年以降の英国の歴史を取り扱うコース(英国歴史学)、近代以降の英国の政治や社会、民のアイデンティティについて学ぶコース(英国社会学)、そして英国のサブカルチャーについて学ぶコース(現代英国文化)を選択した。これらのコースで、自身の母国でもある英国の現在の国民性が出来上がるまでの工程のようなものを導き出せたらと思う。

いずれのコースも、留学生にはセメスタ末に口頭試験がある。一般の学生は主にレポートや発表によって成績を付けられるが、留学生は英語でのハンデを考慮してなのか、そのようになっている。具体的に、これまで学んだことを自分なりに口頭で発表するか、テーマを絞ってまとめたものを話すかである。筆者は英語に自信があるので、英国歴史学の授業は許可をもらい、口頭試験の他にリサーチクエスチョンの設置と参考文献の紹介も行うことにした。

授業は基本的に対面であったが、最近コロナウイルスの感染者数が増えている影響で、オンライン授業に切り替えるコースが増えている。今のところ対面で行うか否かは各コースの講師と生徒の意向次第とされており、筆者が受けている3つのコースは一応対面で行われているが、約半分の学生が教室に顔を出さなくなっている。筆者自身も感染の不安はあるが、オンラインは性に合わないので引き続き対面で参加する予定である。

授業がない日や時間帯は、図書館で資料を探して授業の参考に使っている。自習もここで行うか寮に戻ってやっている。それ以外のときはライブツィヒ大学の日本語学科の学生と交互に会い、ドイツ語と日本語を会話の中で教え合っている。今期のセメスタでは履修時間の都合上ドイツ語の授業を履修できなかったが、話して身に着けることでかなり実力が上がっている。

2. 生活の状況

健康状態と食事・生活必需品について

到着してから、まず時差ボケを治すために、現地に着いた金曜日と翌日土曜日は睡眠をとらずにやるべきことを片付け、日曜日は一日中眠った。週明けから今日まで、起床5時と就寝11時を極力守っている。早寝早起きは健康の基本なので、これで少しでも病気にかかる確率が下がるといいと思う。

毎日三食食べ、適度に運動も行っているので体調は基本的に優れている。定期的にスーパーで食料品を購入しているが、日本よりもかなり安く助かっている。特に果物や野菜の値段が優しく、一袋3kgで2ユーロのリンゴはリピートしている。近くにアジアスーパーもあり、日本食が恋しい時はそこで豆腐などを買っている。肉類もかなり安い上にボリュームがあって良いが、調理のセンスが悪いため、いい肉はダメにするのが怖くて買えない。そのため、肉類は基本的に店などで調理済みのものを食べるようにしている。スーパーには生卵の他にゆで卵がパックで売られており、剥くだけなのでタンパク質はこれで補っている。他の日本人留学生の中には口に合わなくて困っている人もいるらしい。Markt 駅に行くと、たまに屋台で野菜などが売られており、物によってはスーパーよりも安いので、見かけたら寄っていくようにしている。

温めるだけの出来上がった弁当のようなものもあるほか、パンが豊富に並んでいるが、かなり脂っこいものや甘いものが多いので、食べ過ぎはよくないと思う。

その他日用品は薬局で買える。トイレットペーパーや洗剤、石鹸など、高いものもあるが少しずつ工夫して使えば長持ちする。Euroshop など、日本でいう百均のような店でも掃除用具などが低価格で購入できるので、見に行つて安いものをメモして使い分けている。

家具やシーツは、大学周辺の街中でも購入できるが、スーパーや薬局、ファンシーショップ以外にはハイブランドや高い店が多いので、IKEA で買うのが一番いい。バスで30分ほどで着く。

コロナについて

ドイツの新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、11月中頃から店などへの入店が厳しくなった。ロックダウンが12月に行われる可能性があるとのことで、空気がややピリピリしている。クリスマスマーケットもザクセン州は中止となり、建設中だった屋台や観覧車も11月の末までにはすべて片付かれてしまっていた。日本人留学生の間ではクリスマスマーケットはとても楽しみにされているイベントだったので、皆残念がっていたが、12月の2日に、電車で30分ほどかけて日本語学科の学生たちと Halle というところに向かい、そこで行われていた小規模のクリスマスマーケットに行くことができた。

クリスマスマーケットに行けて未練がなくなったので、生活必需品を多めに買い込んで、街にはしばらく行かなくていいように準備した。娯楽のために本なども買うといいと言われた。しばらく生活に不自由ができるかもしれないが、スーパーは営業時間短縮でやっているの、乗り切れると思う。